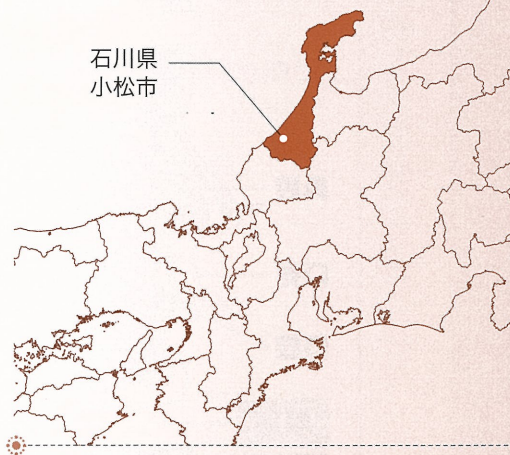




存在感のある活動、新設老人会の結成で会員増

石川県小松市 金野地区老人会連合会

- クラブ数 6クラブ
- 会員数 284名 (男性110名、女性174名)



小松市では昨年、全国植樹祭が開催されました。市の東南部にある私たちの地域は中山間地であり、中でも金野地区は424戸、人口1222人、少子高齢化と過疎化が急速に進行していて、地域のいろいろな組織がその影響を受け、老人会にも及んでいます。

平成26年から始まった全国100万人の会員増強運動に呼応して、地区老連でも地域ぐるみの運動展開をしています。社会の変化に対応した、老人会の有るべき姿を模索しつつ、多様化した課題解決に向けたさまざまな方策

を提案して、町老連と共に活動を展開しています。

各老人会では、未加入会員への加入呼びかけを推進しました。近年は定年延長や定年後の再雇用が進み、70歳までの高齢者の加入が少なくなり、一方高齢化で、入院や施設入居のための退会者が増加する中、会員補充には苦労しているところです。しかし運動から2年、下記の取り組みにより、小松市の会員増員に貢献できました。

館で実施。

- 楽しい食事会 調理師資格を持つ会員の主導による料理づくり。

- 高齢者対象のふれあい弁当訪問 思いがけないサービスが大変喜ばれている。

今後は次の活動を計画しています。

- 絵手紙教室 趣味で書いている会員の指導で行う企画。
- 健脚体操教室 これまで他町の指導者に依存していた教室を、ボランティア養成講座を受講する二名の会員講師により自前の教室を計画中。

地域に存在感のある活動を展開

神社・記念碑・無縁墓地等の清掃奉仕活動や、花壇づくりによる町の景観づくりに取り組みと共に、加入予備軍である若手高齢者、特に女性を意識した趣味の作品展示や趣味の教室、花鉢競演会等の企画推進をしています。今、各町の女性の会は50歳定年で、その後、老人会加入までの20年間を地域との関わりなく過ごすことが、今後どのような影響をもたらすのか強く懸念を持っています。

また昨年から新規事業として、ふるさとの歴史を掘り起こし、次世代に伝える運動に挑戦しています。具体的には、各町の歴史の再認識を図り、その活用として、各町の「歴史検定」を作っているのです。地元の介護施設の協力で、高齢者向けの脳トレに活用すると共に、子ども向けのふるさと検定を作り、地域づくり活動に貢献することを試んでいます。

加えて、老人会の活動状況を、機会あるごとに地域に情報発信することを勧めています。会報の全戸配布により老人会への理解が進み、支援者が拡大することを期待しています。町

- 奉仕活動 町内墓地清掃と合わせて記念碑の清掃を老人会が担当することにより、組織の存在を印象付ける。

少ない会員によるスタートでしたが、地区老連のアドバイスと会員のさまざまな知恵で、しがらみの無い活動企画をして、会員の健康づくり、仲間づくり、生きがいづくり、地域づくりに貢献できる老人会に成長することを期待するものです。

(会長 神田淳二)

老人会新設の経過と活動

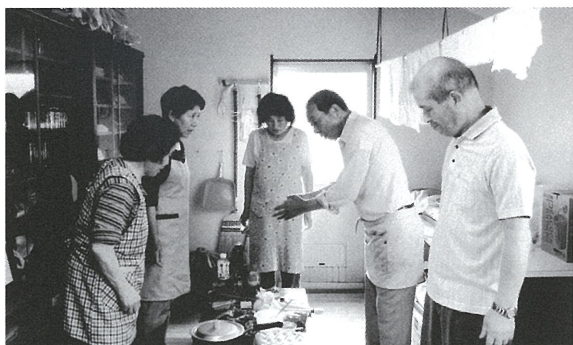
地区の各老人会では健脚体操、いきいきサロン、食事会等健康福祉活動、生きがい活動等に取り組み、楽しみながら仲間づくりをしています。それらの状況を紹介することで、ようやく念願の未設置地区における老人会結成の運びとなりました。

35戸、100人の小さな集落、江指町に、会員29人の老人会が誕生しました。この地域は中学校、近くには市立公民館、老人介護施設があり交通の利便も良い所です。

老人会の立ち上げには2年を要し、関係者との相談、リーダーとなり得る対象者との話し合いを続けました。今年に入り町内会長に支援をお願いして、町内会役員会にも理解を頂き、幅広く協力が得られました。

この新設老人会では、これまで次の活動に取り組んでいます。

- 健脚体操、いきいきサロン 月2回公民



食事づくりに取り組む



「いただきます」



ふれあい弁当訪問